



● ルバーブのジャムを作りました! ●



ルバーブ (シヨクヨウダイオウ、マルバダイオウ)

科名:タデ科 属名:ダイオウ属
花言葉:迅速 生薬名:大黃(ダイオウ)

ルバーブは野菜の一種として扱われ、茎をジャムにしたりパイの具にするなど、果物と同じ調理で食べられています。ルバーブの原産地はシベリア南部で欧米ではお菓子のフレーバーとしても定着している

そうです。りんごに似たような酸味とアンズのような香りが特徴で、ビタミンC、カルシウム、食物繊維が多く含まれることから美肌効果も期待できるといわれています。しかし、ルバーブにもわずかに瀉下作用のある**センノサイド**が含まれているため、敏感な人は下痢をしてしまうことがあるそうです。ルバーブはダイオウ属で、ダイオウ属の植物を総称して大黃(ダイオウ)といいます。ダイオウ属の一部の植物の根茎から生薬の大黃が調製されます。大黃は漢方薬では瀉下作用を利用して大黃甘草湯に配合されるだけでなく、停滞した血の流れを改善する活血作用を期待して桃核承気湯などに配合されています。

生薬の大黃



ルバーブの葉柄



● オオバコも生薬として使われています ●



オオバコ



オニオオバコ

花穂

科名:オオバコ科 花言葉:足跡を残す

道端でよく目にするオオバコですが、オオバコの成熟した種子を**車前子(シャゼンシ)**、花期の全草を乾燥したものを**車全草(シャゼンソウ)**といい日本薬局方に収載されています。車前子は高齢者に用いることの多い牛車腎気丸に配合されています。葉が大きく広いことから「大葉子」というそうです。「車前」は漢名で、車(馬車・牛車)が通る道の端に多く生えることからこの名前がついたそうです。オニオオバコはセイヨウオオバコのことで、葉はオオバコそっくりですが、オオバコよりボリュームのあるグリーンの花穂をしています。

ほかにも薬草園にはどんどん新しい花が咲いてきています。前号で調理していたアーティチョークも花が咲き始めました!



アーティチョーク

ルリタマアザミ



キキョウ